



潮見が丘中学校 学校だより 令和6年7月1日発行

学校教育目標

- 自ら学び知性をみがく生徒 ○心情豊かで仲間と共に伸びる生徒 ○心身ともにたくましい生徒

『長い夏季休業…試されています』

～『自由な時間を与えられる』…さて、どう過ごすのか？～

校長 齊藤 康輔



『試される7月…』と前号で書かせて頂きました。特に『管内中体連』は生徒にとって正に『試された』良い経験となりました。3年生にとっての最後の中体連…この大会で引退した生徒もいます。この先の全道大会・全国大会を目指して日々努力を続けている生徒もいます。それぞれの夏です。

…どちらにしても次の目標に向けて『ポジティブ』に自らを律することが必要です。

今年の『夏季休業』は例年より1週間延びています。長い夏休みと言えます。北海道らしからぬ『暑い夏』を避けるための措置です。25日間の夏休みでも持て余していたのに…と思うことでしょうか。しかし、『自分が試されている』期間は延長されたと考えなくてはなりません。

生徒たちは、普段、登校していると「時間」に縛られています。自分の思い通りにならないことに腹を立てて…反抗したりサボったりするのが『日常』です。人は「縛られていると自由になりたい」と考えます。「自分の思うようにやりたい」と考えて『解き放された自分』の姿を思い描き…『現実逃避』をします。みんな通ってきた道です。

しかし、本当に『自分を律し、自立する力』が備わっていなければ…『どうぞ…好きにしてください』と言われると『？どうしたらいいの？』『何をしたらいいの？』と…不安になるのが当たり前なのです。我々…大人だって『はい！明日から休んでいいよ！』と…いきなり言われたら…自分の身の置き場に困ることでしょう。

長い夏休み…「学校閉庁日」は10日間もあります。つまり、部活もありません。完全に学校から切り離される『望み通りの期間（時間）』なのです。

ここで『試されて』います。現在の『先行き不透明で予測困難な時代』は…この先もずっと続きます。この時代を『逞しく生き抜くために』は『自ら判断し行動できる力』が絶対に必要です。…持て余す時間…『スマホ』『ゲーム』に逃避して無駄に過ごす生徒が多いと思います。もしかすると…大人の皆様も同様なものかもしれません（スマホに子守をさせている時代ですから）。このような『夏季休業』を『どのように考えて過ごす』のでしょうか？

ご家庭で『真剣に考えて』下さい。生徒たちは…『自由にして良い時間』が与えられたら…実際どのように過ごすのでしょうか？

『何もすることないじゃ～～～ん』『めっちゃ！ヒマ～～～』と言って…くだらないSNSのやり取りに時間を消費するのでしょうか…。『試されている』のです。忘れずに！



**7月行事予定は、潮見が丘中学校ホームページより
ご確認願います。**

*QRコードは株式会社デンソー
ウェーブ様の登録商標です。

